

伐採木の防火対策について

2012年5月28日
環境線量低減対策



東京電力

1. 伐採木の保管状況

現状の保管状況

- ✓ 保管量約60,000m³(H24.5.8時点)
- ✓ 枝葉根・幹に分別
- ✓ 野積み保管

保管場所	種類	保管量(m ³)	積載高さ
G: 敷地北東側	枝葉根・幹	17,000	5m
H: 敷地北西側	枝葉根・幹	16,000	5m
I: 敷地北西側	幹	11,000	5m
J: 敷地南側	枝葉根	12,000	5m
K: 敷地南東側	枝葉根	5,000	2m



2. 現状の防火対策

✓ 区画

- 一時保管エリアに柵・ロープ等による区画、立入制限の表示

✓ 通気性確保

- 積載制限: 5m

✓ 定期的な散水

✓ 消火器の設置

- 火災時の初動対策

✓ 巡視、温度監視

- 週1回実施中
- 積載高さ5mの枝葉根の保管エリアに対してそれぞれ2箇所(深さ1m、2m)



温度測定ポイント例示(Hエリア)

3. 夏期防火対策（6月～9月）

- 巡視、温度監視を強化
 - ✓ 巡視：頻度増加
 - ✓ 温度監視：頻度増加
温度測定箇所増加
- 温度上昇時の対応
 - ✓ 散水頻度：適宜増加
 - ✓ 集中散水：高温部分に集中して散水
 - ✓ 切り返し：内部に溜まった熱を放出